

KCN といっしょに応援!

ラグビーチーム 花園近鉄ライナーズ

KCNはラグビーチーム「花園近鉄ライナーズ」(花園L)を熱く熱く応援しています。関西を元気にすべく戦うチームをご紹介します。



生まれ変わっていく花園Lに注目してください!

1974年7月10日生まれ、大阪府出身
出身校 早稲田大学
好きな食べ物 焼き肉・寿司・桃
(こう見えてお酒は飲みません)
マイブーム ドライブ・洗車
一人の時間



前田 隆介

まえだ りゅうすけ (ゼネラルマネージャー)

Q. ゼネラルマネージャー(GM)就任の経緯を教えてください。

今年の4月にGMに就任したのですが、元々私は花園L(当時は近鉄ライナーズ)の選手であり、引退後には監督も務めました。監督を退いてからは近鉄グループの社員として駅ナカ事業や百貨店の仕事にも従事。花園LのOBとして、試合の日のグッズ販売なんかを手伝っていたんですよ。GM就任の打診を受けたときには、本社の近鉄グループホールディングスの事業戦略部(現 総合政策部)にいました。

Q. 現在はどのようなお仕事をされていますか?

新シーズンの準備を進めていまして、コーチングコーディネーターという新しい役職を設けるなど、特に組織の再構築に取り組んできました。現場では、アドバイスやフォローといった形で、ヘッドコーチはじめ指導陣をしっかり支えていくつもりです。

Q. 監督時代と現在とで変化を感じる点がありますか?

監督をしていた頃のチーム運営では、会社から与えられた予算の中で結果を出していくことを求められたのですが、今はグッズ販売やパートナー契約など、チーム独自で利益を生み出す必要があるという点が大きな違いですね。そういった事業拡充もまた、私の重要な役割だと認識しています。

Q. GMとして心がけていることを教えてください。

選手に対しては、オンとオフをしっかりと切り替えるように、と伝えています。試合や練習のときには妥協を許さず勝利と鍛錬を追求して、プライベートのときは羽目を外しすぎない程度に楽しんでもらう(笑)。それができる選手が、勝負どころで力を発揮するものなんです。

Q. KCNに加入している皆さんにメッセージをお願いします。

生まれ変わっていくライナーズに注目してください! 私もうわくわくしています。昔に比べ、練習設備なども充実していて、選手にも潜在的な力は十分にある。一方で、昨季リーグワーストの201を数えた反則数など、改善するべき点も多々ある。私自身の監督当時も振り返りながら、チーム内のルールや習慣を見直し、より良い花園Lにしていきたいと思っています。



数えて
坪井さん(番外編)

NTTジャパンラグビーリーグワン2024-25
開幕直前!

12/21(土)
開幕

花園Lの“ツボ”をお教えします♪

花園Lの元監督にして、KCNの番組「いであれ!」で活躍する坪井章が、新シーズンを戦う花園Lの見どころ=ツボをお伝えします。

新戦力と新スローガンに期待大!

坪井章 花園L元監督

坪井のツボ 1

すべてが詰まった新スローガン

今季のチームスローガン「All Attack」に、チームの戦い方が集約されています。「一人ひとりがアタックからもディフェンスからも貪欲にトライを取るチームになる」という意味で、ボールを動かし続けるアグレッシブなアタッキングラグビーを目指すという意識の表れです。

坪井のツボ 2

スローガンを体現する選手の加入

注目は、新加入のアキラ・イオアネ選手です。ラグビー王国ニュージーランドのスター選手で、2016年リオ五輪の7人制代表にも選ばれています。破壊力抜群のアタックは、大きな武器になること間違いなしです。キャノンイーグルスからはミッチェル・ブラウン選手、サントリーサンゴリアスからは雲山弘貴選手、そして元U20オーストラリア代表のウィル・ハリソン選手も加入。チームに勢いをつけてくれるでしょう。

アキラ・イオアネ選手



坪井のツボ 3

スーパースターの後継者を補強

トヨタヴェルブリッツから移籍してきた丸山凛太郎選手にも注目。高校日本代表、U20日本代表、ジュニア・ジャパンにも選出された逸材で、しかもまだ24歳。同じポジション(スタンドオフ)には長年チームをけん引してきたベテランのクウェイド・クーバー選手がいますが、クーバー選手を脅かすような突き上げに期待しています。

丸山凛太郎選手



坪井のツボ 4

指導陣の「覚悟と徹底」

「覚悟と徹底」を胸に、2年目の指揮を執る向井ヘッドコーチ。ディビジョン1への昇格に向け、並々ならぬ強い意志を感じています。FWコーチに元オーストラリア代表のレジェンドで、トンガ代表のヘッドコーチ経験もあるトウタイ・ケフ氏を迎えるなど、指導陣の陣容も固まりました。チームの進化为非常に楽しみです!

坪井のツボ 5

新リーダーの誕生で生まれる効果

新キャプテンのバトリック・タファ選手は、強烈なボールキャリアーでチームをけん引。パイスキャプテンのジェド・ブラウン選手も体を張るプレーが特徴、会うたびに日本語が上達しています。同じくパイスの河村謙尚選手は、昨年一気に頭角を現したムードメーカーです。外国出身のキャプテンは、ラグビー界のレジェンドでもあるトンプソン・ルーク氏以来。ルーク氏は、行動でチームを引っ張るリーダーだったので、同タイプのバトリックたちを起用したということは「言葉より行動で示す」というチーム方針を体現していると思います。



ついに開幕!

リーグ戦(会場:東大阪市花園ラグビー場)
VS. 豊田自動織機シャトルズ愛知
12月21日(土) 14:30キックオフ



詳しい情報はホームページでも!
花園近鉄ライナーズ 検索
<https://hanazono-liners.jp/>
携帯電話はコチラからでもOK



J SPORTS

今季もリーグワン
Div 1, Div 2
全試合放送!

vs. 豊田自動織機シャトルズ愛知
12月21日(土) 14:20~ J SPORTS 3

※放送予定は変更になる場合があります。

ラグビー わんだほー! ~ラグビー情報番組~
毎週月曜日22:00~ J SPORTS 1

※12/2・9は放送がありません。

